

個人質問

健康と思いやりあふれる街づくりと
子育て支援の充実、教育環境の整う街づくりについて問う！

加藤 弘



健康と思いやりあふれる街づくり

問 障がい者福祉の充実に
ついて何う。

市長 障がい者が地域で安心して暮らせる社会の実現を目指して、障害者自立支援法が施行され、障害者福祉サービスの給付や補装具の支給、医療費助成など、障がい者に対するさまざまな支援が実施されております。

また、これら福祉サービスのほかに本市では、障がい者の経済的負担軽減や社会参加の促進のため、リフト付き専用車両の貸付事業や、難病療養者への見舞金支給事業、重度心身障がい者への福祉タクシー助成事業などを市の独自事業として実施しているところであります。

子育て支援の充実

問 若い親の方々の多くは、自立した生活

を望み、そのような中、生まれて間もない子どもを保育園に預け、働かなくてはならない環境が生まれ、ゼロ歳児保育が多く望まれる状況が現在の八街市の現実ではないか。

そこで、保育所持機児童の解消について何う。

市長 現時点においては、施設の整備計画がないことから、国が定めた児童福祉施設最低基準を遵守した上で、保育士が確保できれば、少数ではありますが、受入数を増やせることが確認できましたので、必要となる臨時保育士の経費を新年度予算に計上するよう担当課に指示したところであります。

再 全体で55名の待機児童のうち12名に関しては、臨時職員の採用によつて解消できるとのことだが、あとの43名をどのように解消していくのか何う。

市長 保育園以外の公共施設の有効活用が

図れないか、再度検証したいと考えております。これは、教育施設も含め、引き続き研究していきたいと考えています。

教育環境の整う街づくり

問 交進・川上・八街東小学校の耐震補強工事と、朝陽小学校の校舎全面

個人質問

市政運営と市民サービスの向上、
八街農産物ブランド化の具体的戦略について

石井 孝昭



市政運営と市民サービスの向上について

問 本市の財政状況を
見ると、平成25年から平成26年あたりをピークに公債費負担が重くのしかかる状況に向かうものと思われるが、本市の中長期的な財政運営の健全化を図るための今後の取り組みや方針について何う。

市長 本市の財政を取り巻く環境は、依然として厳しい状況が続いている中で、毎年度の予算編成において、予算全般について節減合理化を推進するとともに、基本的な姿勢に立ち、歳入の確保、施策の厳選に努め、各種施策については、必要性、費用対効果、緊急度、市民サービスの水準の適正化等に十分留意しつつ、限られた財源を重点的、効果的に配分しながら財政運営を行っているところであります。

再 平成25年4月開通予定の（仮称）酒々井インターチェンジの近接地に八街のアンテナショップ的な直売所等を作ることができれば、八街産野菜のブランド化に大きく役立ち、生産農家の方の所得向上、関連産業の活性化にもつながっていくものと考えている。隣の酒々井町との連携を図る中で取り組んではどうか。また例えば仮称「八街ブランド化推進協議会」などの発足を図り、協議を重ねるお考えがあるか何う。

市長 JAいんば、関係者と協議した中で、また、酒々井町長とも今後協議を重ねて、そのような方向で取り組んでいきたいと思っております。

※その他の質問

◆ワンストップサービス

◆遊休農地対策について

現在、窓口対応など、市職員の接遇

八街農産物ブランド化の具体的戦略について

問 ブランド化を図るために、生産者ばかりでなく、行政側の支援が必要不可欠であると思われる。全国野菜フェアなどのイベントにおけるトップセールスプロモーションを積極的に展開すべきであると思うが如何か。

市長 全国野菜フェア等への参加につきましても、本市の農産

物在全国的にPRできる機会でもありますので、積極的に検討していきたいと考えています。

再 平成25年4月開通予定の（仮称）酒々井インターチェンジの近接地に八街のアンテナショップ的な直売所等を作ることができれば、八街産野菜のブランド化に大きく役立ち、生産農家の方の所得向上、関連産業の活性化にもつながっていくものと考えている。隣の酒々井町との連携を図る中で取り組んではどうか。また例えば仮称「八街ブランド化推進協議会」などの発足を図り、協議を重ねるお考えがあるか何う。

市長 JAいんば、関係者と協議した中で、また、酒々井町長とも今後協議を重ねて、そのような方向で取り組んでいきたいと思っております。